

安曇野市市民協働事業提案制度 実施報告

事業名 安曇野“住まいの終活のススメ”事業

協働事業 実施団体名	NEX-T 安曇野	安曇野市	市民生活部 環境課 空家対策室
代表者名	宮崎 崇徳	代表者名	太田 寛
活動拠点所在地	安曇野市内全域		
事業実施総額	658,000 円		
事業実施日・期間	令和3年 4月 1日 ~ 令和4年 3月31日		
事業概要・成果 ・今後の展開	<p>空き家は安曇野市においても増加しており、対策が求められているが、空き家問題は法律・相続・登記・税務・建築等の要素に加え、多様な主体がからみ合う複雑な課題である。空き家は放置が進むほど問題が複雑化するため、関係者間で課題を共有し、最も重要な空き家予防・診断に焦点を当て、広く市民に周知し、今後の継続的な活動や活用提案等へとつなげていく必要がある。</p> <p>よって、「安曇野“住まいの終活のススメ”」事業では、安曇野における空き家の現状と課題を共有し、実地で体験し、この経験をもとに、空き家の予防・診断・活用について、プロセスを分けて見える化し、空き家の予防・診断の重要性について市民に広く周知する。</p> <p>「住まいの終活ワークショップ」を開催し、令和3年5月 10 日(月)、6月 11 日(金)、7月 9日(金)の3回にわたりワークショップを、5月 26 日(水)に空き家現地視察を実施し、約 30 人の参加者とともに、所有者・土地・建物・地域の関係と課題を共有し、また実地で体験した。</p> <p>「空き家相談会」を1回開催し、相談者全員の所有物件の現地視察につながった。また、穂高宿の散策と空き家見学を兼ねた「穂高宿まちあるき空き家見学会」を 2 回開催し、44 人の参加者があり、空き家の利活用や、地域への関心が高まった。</p> <p>ワークショップ等の内容をまとめ、「安曇野”住まいの終活のススメ”ハンドブック ~空家の予防・診断・活用チェックシート~」を作成した。今後配布を行い、広く市民に空き家の課題や予防策について啓発を行っていく。</p> <p>これらの活動の成果を、令和4年3月 12 日(土)開催の『安曇野市空き家啓発講演会「わがまちの空き家対策」市民協働事業活動報告会』にて報告し、79 人の参加があった。</p>		
役割分担	協働事業提案団体	市	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住まいの終活ワークショップ企画運営</li> <li>・空き家相談会企画運営</li> <li>・穂高宿まちあるき空き家見学会企画運営</li> <li>・『安曇野”住まいの終活のススメ”ハンドブック ~空家の予防・診断・活用チェックシート~』原案作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住まいの終活ワークショップ運営補助(一部業務委託)</li> <li>・空き家相談会運営</li> <li>・穂高宿まちあるき空き家見学会運営</li> <li>・『安曇野”住まいの終活のススメ”ハンドブック ~空家の予防・診断・活用チェックシート~』作成協力</li> <li>・広報による周知</li> <li>・事務局業務(参加者とりまとめ、講師依頼、印刷製本等)</li> </ul>	